

主イエス命名の日 説教

「主よ、わたしたちの中にあって進んでください」

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

1月1日は「主イエス命名の日」の祝日です。私たちの信仰生活の主のみ名を崇めることであることを改めて心に留めて新しい1年を歩み出して参りたいと思います。

寒波が一週ごとに来ている感じがします。クリスマス前の1週間は寒く、クリスマスの週は比較的で寒さも和らぎましたが、年末から年始にかけて再び寒波が到来し、大雪と寒さをもたらしています。昨冬は雪が少なかったのですが、今年はどうなることでしょうか。

コロナも心配です。不安は尽きませんが、今年も皆さんで支え合っていきましょう。さて、旧約聖書は出エジプト記34章1~9節が選ばれています。「モーセは主が命じられたとおりにシナイ山に登った。手には2枚の石の板が携えていた。」(出エジプト34:4)

モーセ、シナイ山、2枚の石の板といえは「十戒」ですよね。十戒は出エジプト記20章ですすでに授与されています。しかし、シナイ山の下でモーセを待っていたイスラエルの民は待ち疲れたあげく、あろうことに金の子牛を作って偶像崇拝をしていたのです。

これに激怒したモーセは十戒が刻まれている石の板を叩き壊してしまったのです。そのため今日の箇所は再授与される場面なのです。

モーセは主に懇願します。「主よ、もしご好意をしめしてくださいますならば、主よ、わたしたちの中にあって進んでください。確かにかたくなな民ですが、わたしたちの罪と過ちを赦し、わたしたちをあなたの嗣業として受け入れてください。」(出エジプト34:9)

私はこのモーセの祈りを2021年の年始にあたり、神様から与えられたみ言葉のように思いました。

私たちはいつも神様の思いに反したことばかりしている「かたくなな民」です。しかし、主よどうぞそのような「私たちの中にあって進んでください」と心より祈ります。

神さまがよろこばれる栄光のために私たちが今年もそれぞれに出来ることを喜んで成し遂げていくことが出来ますように、私たちを導いてください。

父と子と聖霊に栄光がありますように。アーメン